

オープンカウンター方式による留意事項（工事契約）

1. 現場説明について

見積作成にあたり現場説明を希望する場合は、下記メールアドレスにご連絡ください。

kaikei.sendai@met.kishou.go.jp

2. 数量計算書について（仕様書に添付されている場合）

見積時積算数量書活用方式の対象工事ではありません。

数量計算書は参考としてご覧ください。

3. その他について

その他については「仙台管区気象台オープンカウンター方式実施要領」のとおりです。

大井沢地域気象観測所防草シート更新工事

仕 様 書

山形地方気象台

仕 様 書

【工事件名】 大井沢地域気象観測所防草シート更新工事

【工事場所】 山形県西村山郡西川町大井沢字中村 1152

【工事期限】 令和7年10月31日（金）

【工事概要】 1. 防草シート敷設

【一般事項】

1. 本工事は、本仕様書及び公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版、その他関係法令によること。
2. 本工事契約後、工事工程表を1部作成し、契約後1週間以内に監督職員へ提出し承諾を得ること。
3. 本工事に疑義がある場合は、双方協議の上監督職員の指示に従うこと。また、協議や打合せ、仕様の変更を行った場合は、その内容を記録した議事録を速やかに監督職員に提出すること。
4. 本工事の施工上必要な官公署その他に対する諸手続きは遅滞なく行い、且つこれに関する費用は受注者が負担すること。
5. 作業時間は平日 08:30～17:00の間とすること。なお、時間を越えて作業を行う場合は、監督職員の了承を得ること。また、現場管理を行い環境保全、事故防止に努めること。
6. 本工事に伴う発生材は、全て場外搬出し、関係法令等に基づき適法措置を行うこと。また、産業廃棄物は処分後、速やかに産業廃棄物管理票（写）を監督職員に提出すること。
7. 本工事に使用する部品及び材料は、日本産業規格又はこれと同等の規格品とすること。
また、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）第六条第二項第二号の判断基準における、特定調達品目に合致した製品がある場合には使用すること。
8. 本工事に使用する工具・調整機器・資材・消耗品等の必要な機材等は全て受注者の負担とすること。現場の納まり、取り合わせ等の関係で材料の寸法、取付工法を多少変更し、あるいはこれらによって取付員数を幾分増減する等などの軽微な変更は、監督職員の指示によって行うこと。この場合における受注金額の増減及び工期の延長は行わない。
9. 本工事の施工にあたり、周辺機器に塵埃が飛散しないよう十分に養生を行うこと。
10. 本工事に関する資材は、監督職員の指示する場所へ整理整頓し保管すること。
11. 本契約を履行するにあたって過失賠償責任などが生じた場合、賠償などはすべて受注者の責において行うこと。
12. 本工事以外の施設等に損傷を与えた場合は、受注者の責において原形に復すること。
13. 受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（令和6年6月19日法律第54号）に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険（法定外の労災保険）へ加入すること。
14. 稼働中の施設であるため、作業は監督職員と十分協議、連絡を行い実施すること。

【監督】

1. 発注者が任命する監督職員により、工事内容が本仕様書に適合するよう、受注者に対して監督を行う。

【検査】

1. 本工事完了後、発注者が任命する検査職員による完成検査を受けること。なお、指摘箇所は速やかに手直しを行い、再度検査を受けること。

【提出書類】

1. 監督職員が指定する書式に、その日の作業内容及び作業責任者を記載した作業日報（電子ファイル）を作成する。作業終了後速やかに、監督職員に提出すること。
2. 本工事完了後、完成図書（工事名、完成年月日、受注者名を記入した電子ファイル）を監督職員に提出すること。完成図書は工事完了時における施設の現状を明確に記載すること。
3. 本工事完了後、工事工程写真（電子ファイル、画像ファイル）を監督職員に提出すること。また、各写真はデジタルカメラを使用し、日付（年月日）や作業内容の説明を付すること。
提出書類は原則として、日本産業規格（JIS）A列4番、日本語で記載することとし、電子ファイルは汎用性の高い形式（エクセル、ワード、PDF等）、画像ファイルはJPEG形式とすること。その他、営繕工事写真撮影要領（最新版）によること。



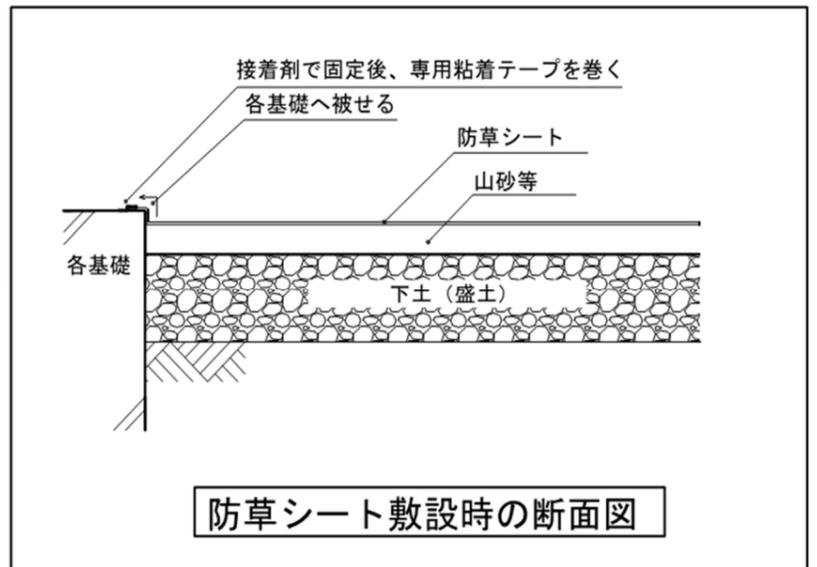
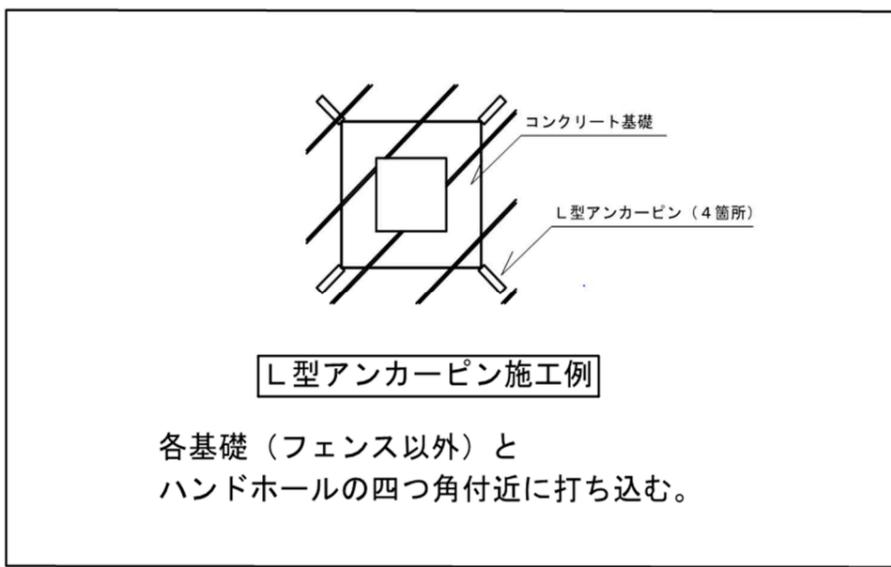
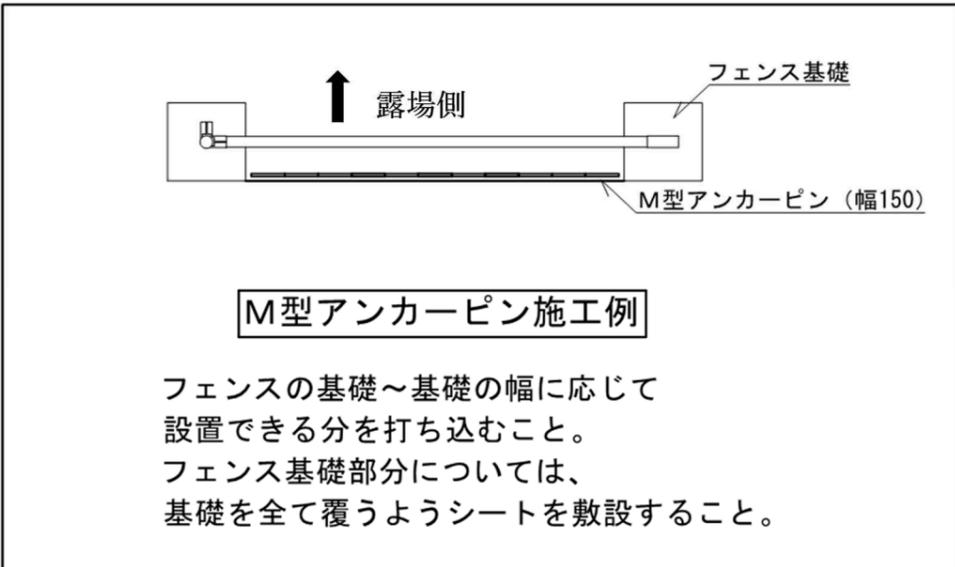
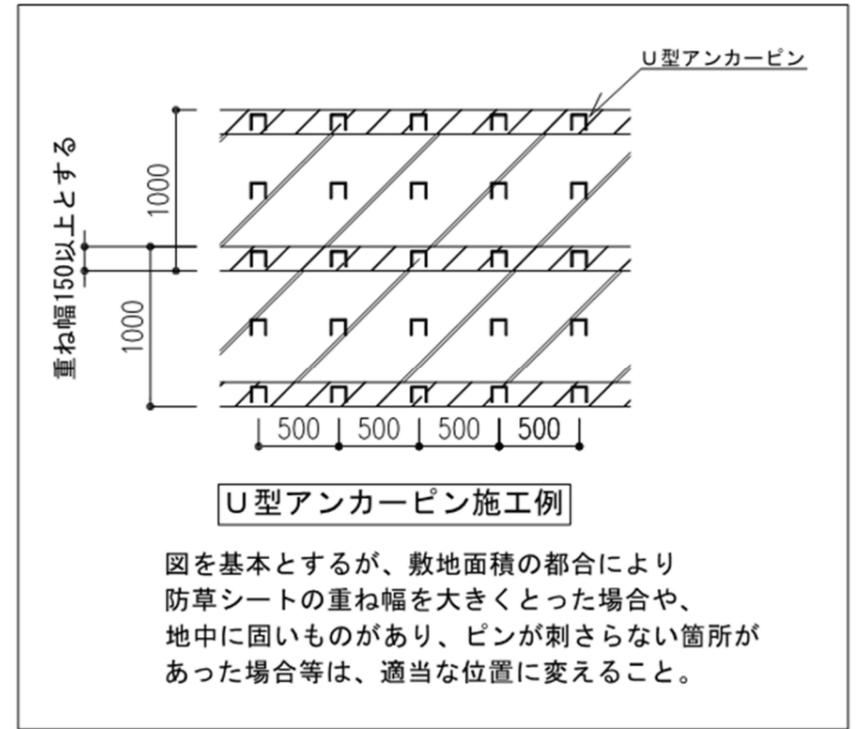
備考欄	工事件名	大井沢地域気象観測所防草シート更新工事	図面名称	仕様書、案内図	図面番号	1
-----	------	---------------------	------	---------	------	---

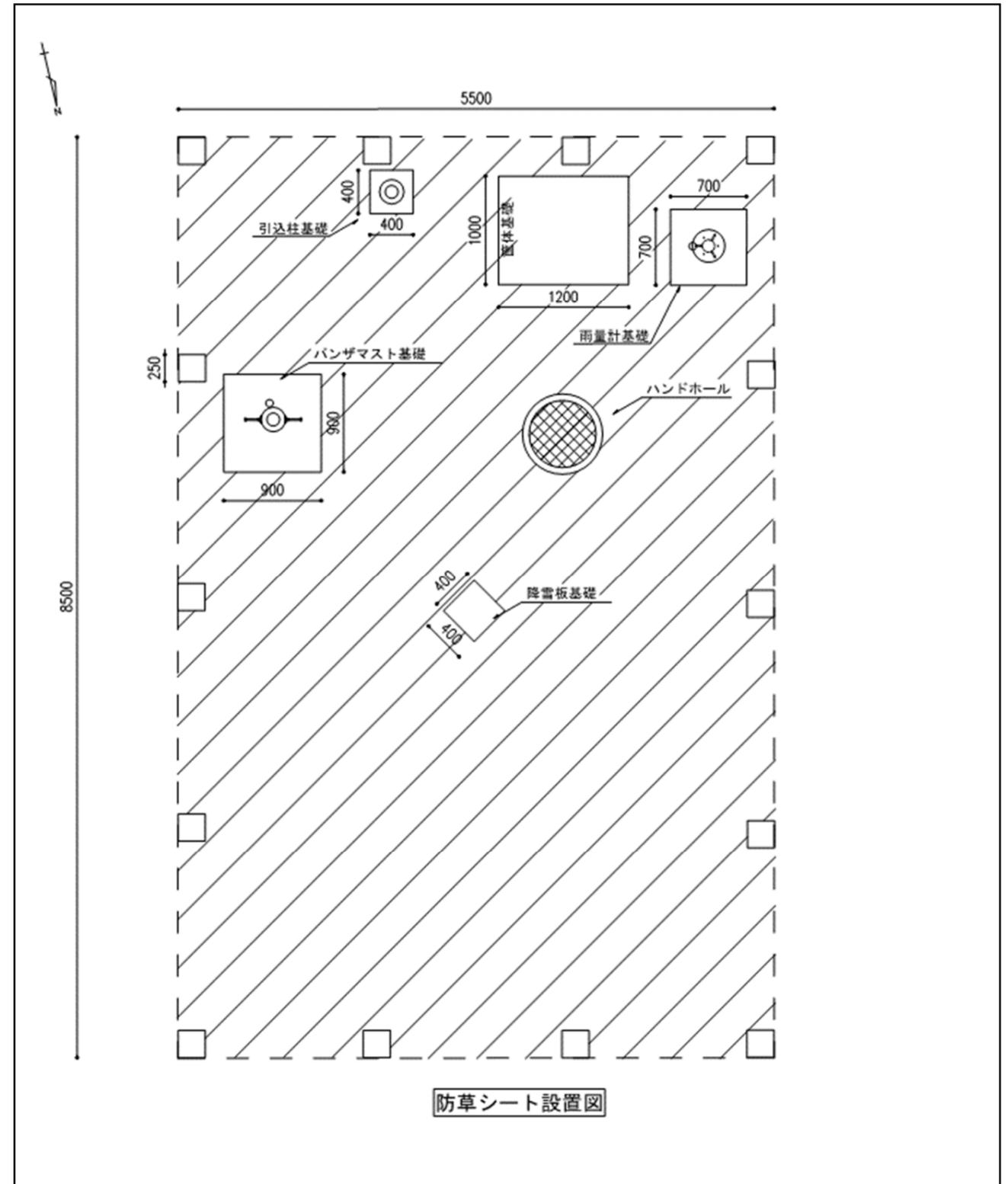
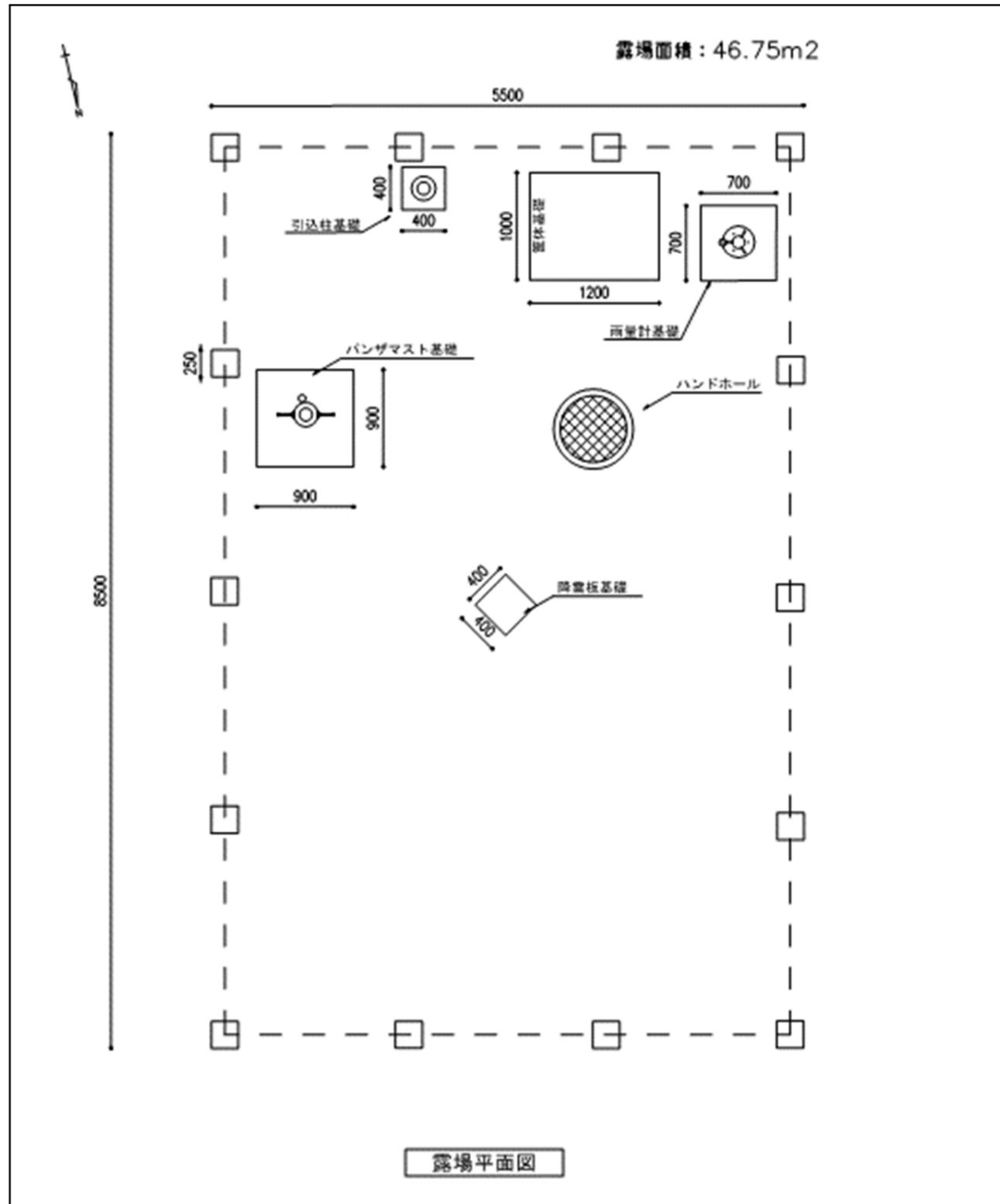
【特記事項】

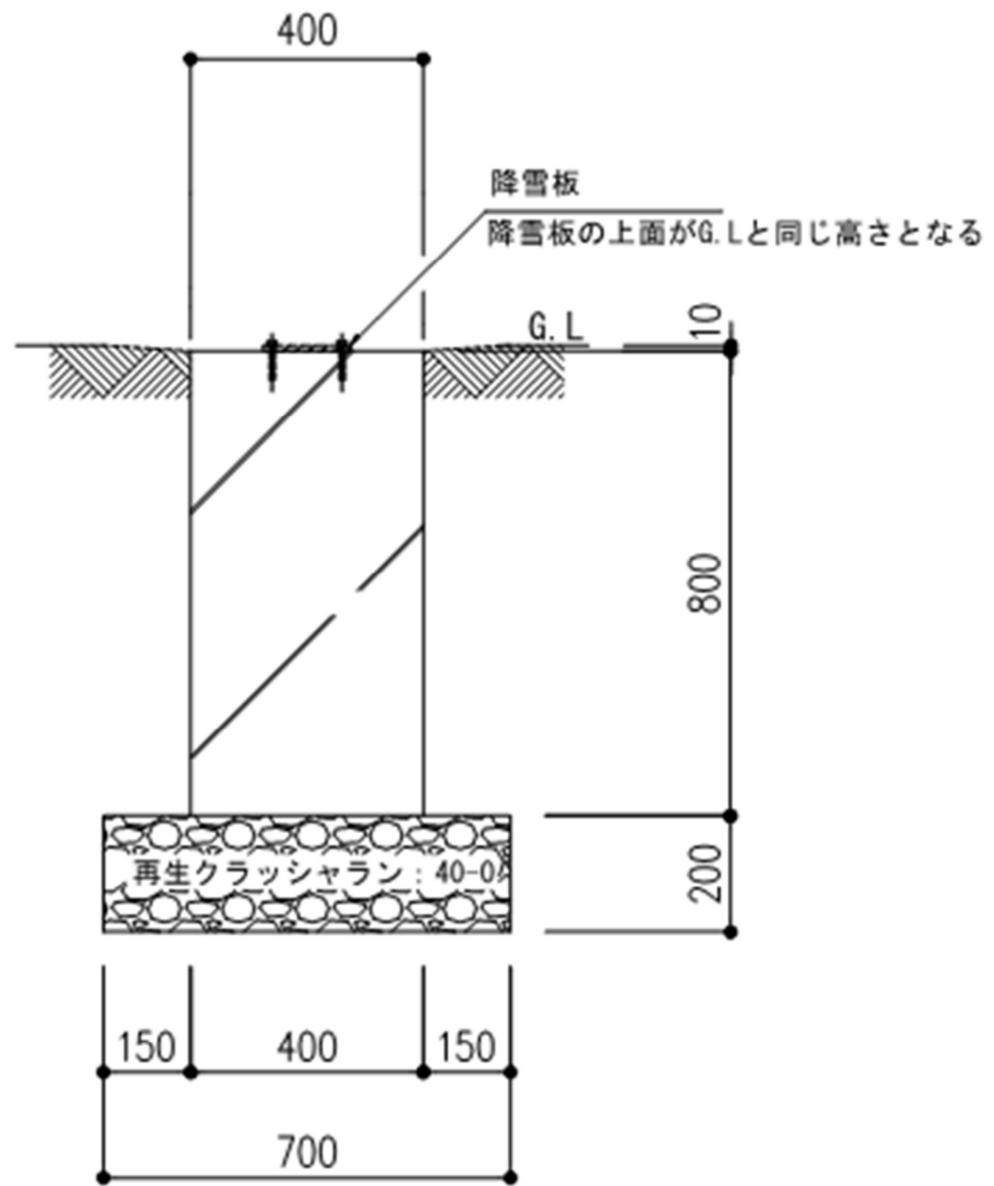
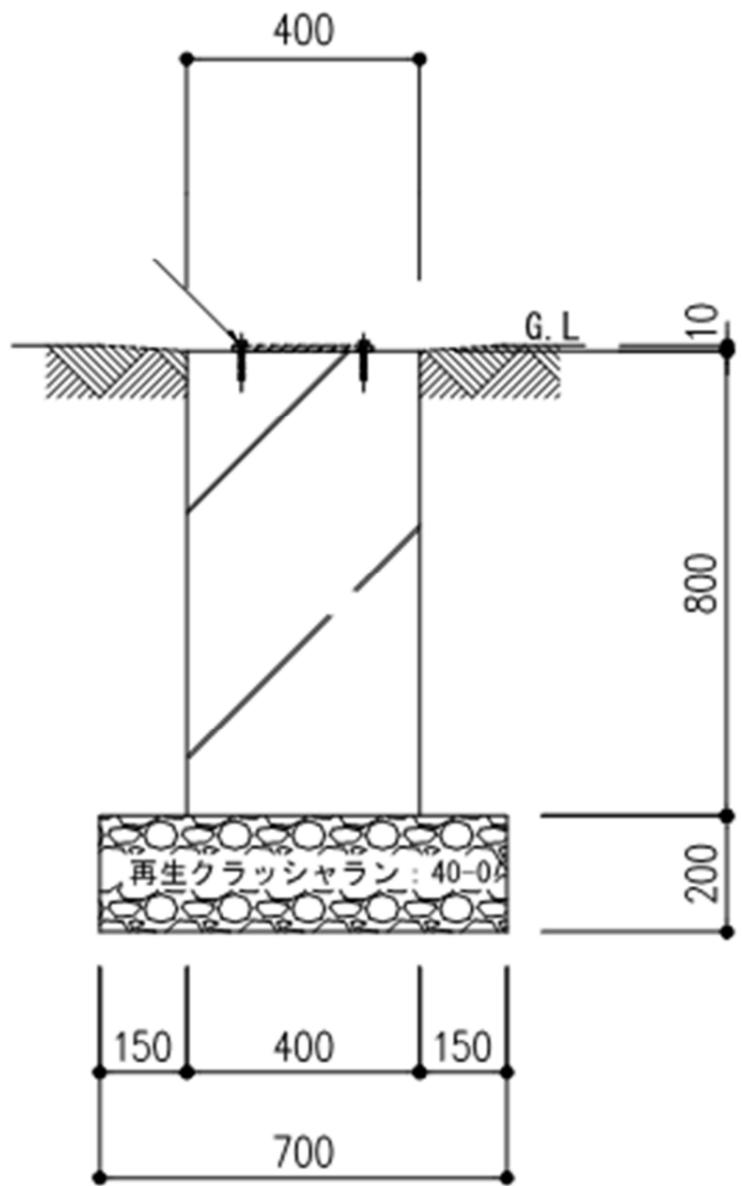
1. 防草シート敷設

- (1) 防草シートは、チガヤシート（同等品、上位規格含む）を標準とする。
- (2) 既存防草シートは、監督職員と協議のうえ、設置作業前に固定用部材と合わせて撤去すること。
また、防草シートの裂け目等に生えている雑草及び根は取り除き、必要に応じて山砂等を入れて平坦に整地した上で、防草シートを観測露場内に敷き詰めること。
- (3) 防草シートの固定は耐腐食性の高い専用固定ピンを用いて固定すること。
防草シートの固定は、外周について、M字アンカーピン（長さ250mm、幅150mm）をシートの端に平行に設置できる分打ち込むこと。
露場内の各基礎及びハンドホールの四つ角付近にL型アンカーピン（長さ300mm）を1本ずつ打ち込み、
その他についてU型アンカーピン（長さ250mm）を防草シート敷設範囲全体に500mm程度の間隔で打ち込むこと。
また、その部分から雑草が繁茂しないように固定ピンをチガヤシート用粘着テープで保護すること。
- (4) 防草シートの重ね幅は150mm程度とし、合わせ目部分は専用接着剤と専用粘着テープで補強すること。
- (5) 各基礎が接する部分は、十分な余長をとった上で基礎に覆いかぶせて強固な接着剤等を用いて固定すること。
また、ハンドホール部分についてはフタが掛けられるようになりぬくこと。
- (6) 重なり合う部分やコンクリート基礎との境界から雑草が繁茂しないように、固定ピンを専用ワッシャー又は、防草シートと同一素材を貼り付けて覆うこと。
- (7) 降雪板基礎上面がG.Lより1cm低くするよう整地すること。

【新設】防草シート設置図、降雪板基礎断面図







降雪板基礎断面図

S:1/20